

真龍小便利

=強い心で 広く学び 清く生きる子ども=

真龍小学校の教育目標

- ◎心と体をきたえる子
- ◎美しい心をもつ子
- ◎考えて行動する子
- ◎生き生きと学ぶ子

平成28年7月22日発行 No. 6

子どもが『学ぶ』ということ

8月のこよみ

校長 渡辺 仁 平

子供は、人が生きる上で社会ルールや公共のマナーなどを守ることの大切さを学校における様々な集団活動を通して学び、「自分がどう生きるのか」ということを勉強している最中です。ですから、世の中の道理を十分に理解していない子供が時として感じる「どうして駄目なの？」という問いに対して「規則だから」では、十分に納得させられないのだろうと思います。子供が「どうして？」と言いつけてくるかもしれませんが、駄目なことは「駄目！」という周囲の大人の毅然としたかかわりが社会性を身につけるうえで重要であるような気がしています。「いつかは気づいてくれるだろう。」という安易な考え方があるとすれば、子供の改善されるべき言動を「見過ごす」あるいは「見ぬふりをする」というかかわりが生じやすくなるのだろうと思います。実はそういった大人のかかわりが、子供に「これでいいんだ」と学ばせてしまっていることにならないだろうか。「許される行為」として学習しているのではないだろうか。「いつかは気づく」というかかわりが、実は「今、学んでいる」という状況を見えなくしているのではないかと懸念しています。

そういった発達の上にある子供であるからこそ、社会の中でルールにしたがって生きることの大切さを理解し、実践できる資質や態度を身につけてほしいと願っています。特に、義務教育の初期段階にある小学生にとって大変に重要なことであると考えています。

ここ数年、青少年が自らの命を絶つ、他の命を奪うなど、痛ましい事件が多くなったように思えます。そのとき社会が、学校が何を教訓とし、何を学んだのだろうかとか悲しい思いをしている人は、私だけではないと思います。

大人であっても子供であっても、あることをきっかけにして、自分の行動が社会的に見てどうなのだろうか？と見つめることは大切です。しかし、他の人の「生命」「自由」「権利」を奪っていいという根拠はどこにもありません。そのことを私の目の前にいる子供にはしっかりと学び、自分が生きていく上で大切にしてほしいと願っているところです。

一方、自分がすべきこと、あるいは実践した方がいいということに対して「しなくていい」という理由（ある意味で屁理屈的な言い訳など）には正義はありません。「勉強しなくてもいい」「ルールに従わなくていい」という理由はないということです。それは、子供も我々大人も同じであると考えます。

青少年が引き起こす事件の報道等を見聞きするたび、周囲の大人が「駄目なことは、駄目。」とかかわってきたのだろうか、「遊び」という理由であれば許されるということ子供がどこで学んでしまったのだろうか、と感じています。今、様々なことを学習している子供が、しっかりと社会人となるために学習できる大人とのかかわりが重要であることを改めて感じているこの頃です。

夏休みです。子供には、しっかりと学びができることを願っています。

日	曜	行事
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	山の日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	前期第二ステージ開始 朝会(講話) 作品展準備(作品搬入) 図書返却週間(24日まで)
18	木	夏休み作品展~29日(月)まで ALT(給食1雪) 街頭指導 プール5年(8:40~10:10)
19	金	特別日課 クラブ② プール1年(8:40~10:10) プール4年(9:15~10:50) プール2年(10:20~11:50)
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	5年生宿泊研修 ALT6年 運動の日 プール3年(8:40~10:10)
24	水	5年生宿泊研修 劇団四季(6年生) 読み聞かせ(小さな絵本箱タイム)
25	木	5年生休業日 ALT4年 プール2年(8:50~10:20)
26	金	特別日課 委員会⑥(前期反省) プール1年(9:25~11:05)
27	土	
28	日	
29	月	参観日2・4・6年 朝会(作品発表月組)
30	火	ALT6年 作品展の作品撤去 プール2年(8:50~10:20)
31	水	小学校音楽鑑賞会

第2ステージへ向けてステップアップするために

～夏休み中に特に復習してほしいこと（算数編）～

算数の基礎学力をより定着させるためには、夏休み中の復習がとても大切です。そこで、算数の少人数指導を担当している小川先生に、学習のポイントをまとめてもらいました。

【1年生】

◇かんたんな たし算 ひき算 は おぼえましょう。

☞けいさんカードをつかうとよいですよ。

【2年生】

◇たし算・ひき算のひっ算

【3年生】

◇4けたのたし算・ひき算のひっ算

○わり算のふく習 ☞九九のふく習にもなります。

【4年生】

◇わり算(4けた÷2けた)のひっ算

【5年生】

◇小数のかけ算・わり算のひっ算

☞教科書のステップアップ算数の問題は大切です。

【6年生】

◇分数のかけ算・わり算

①約分は途中で済ませることが大切です。

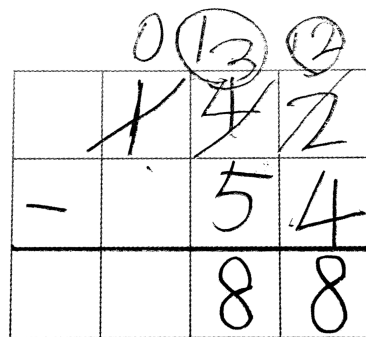
②仮分数を帯分数に直す習慣をつけるとレベルが上がります。

○『速さ』の復習

算数のきほんは、

ていねいに書くことです。

- ・ノートのマス目にきちんと書きます。
- ・ひっ算にはじょうぎを使います。
- ・消しゴムのあとはきれいに消します。



☞くり上がり・くり下がりの小さな数字もわずれずに書きます。

体力向上の取り組み

体を動かす楽しさを体験させること、体力向上の素地を養うことを目的として、月1回「運動の日」を設定し全校で取り組んでいます。7月は跳躍力、全身持久力向上の取り組みとして「縄跳び(前回し跳び3分間)」を行いました。今後も体育の時間や休み時間等で継続して行っていきます。また、いろいろな運動遊びをお便りでお知らせしていきますので、ご家庭でもぜひ実践してみてください。(文責 藤井信次郎教諭)



真龍おはなし隊からの7月のおすすめ本紹介

担当：木嶋こずえさん(5月)

◇「小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売られました。」

- ・原田 剛 (文)
- ・筒井 則行 (絵)

テレビでこの本のストーリーが紹介されていたのを観て読んでみたくてすぐに購入しました。

なんととっても絵にインパクトがあり、タイトルも目を引くものだし、私は最後の保護者あてのあとがきを読んで、自分の子供のために、たくましく生き抜く力を持った「たくましい子」に育つように、心を鬼にして生きていく方法を子供に教えてから天国へと旅立って行ったお母さんの気持ちに共感しました。

ぜひ大人(親)のかたに読んでほしい1冊です。

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

0120-3882-56

(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

急ぎの場合は電話相談をご利用ください。

●来所相談 ※10:00~16:00

(土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。